

師走のこの時期に、大地が白く染まっていることは、久しぶりです。小さい頃は、普通でしたが、近年では、本格的な冬は、1月からというイメージになっていました。雪が積もると、一気に世界が変わり、何よりも、気分が全く変わります。子どもたちは嬉しい限りですが、暮らす大人は、「雪や寒さへの備え」「凍結や運転の心配」「病気や事故への怖れ」「寒さがいつまで続くの、除雪や雪下ろしの心配」など。明日への憂いを持ってしまいますが、これらもシーズン当初だけ。完全の冬になれば、スキーや雪遊びなどの、現在に燃えることができます。その意味では、この時期は、私はちょっと苦手な気分です。

さて、2学期も、公私共に激動の中、皆様のお蔭で無事子どもたちと暮らす事ができました。秋の実りや世界を十分楽しみ、雄飛君や雄河君も加わり、ダイナミックにそして濃い日々を過ごすことができました。登山に始まり、運動会、稲刈り、脱穀、子ども祭り、お父さんデー、クリスマスマーケット、世界一周旅行、そして、日々のリズムある内外の暮らし。この安定した暮らしがあるから、行事や祭りが際立って楽しめるものですね。

これらの暮らしぶりを見ると、本当に、大地は、素晴らしい幸せな暮らしをしているなあと感じます。青山家の子どもたちも、本当に大地は、そして、大地の子どもたちは、楽しくて幸せだと、よく言っています。(高1の末っ子だけは、やはり家は積水ハウスだなどと思春期都会化志向真っ最中ですが)

さて、本格的な冬になりましたら、スキーに雪遊びなど、アクティブに過ごしましょう。更に、私の冬の楽しみは、新館で家族や様々な友人や知人たちと、大地の景色を客観的に楽しむことができるかどうか。完成はまだあやういですが、薪ストーブが稼働したので、過ごす事だけはできそうです。(埃だらけですが)



【無人島で酔う】

やはり無理だった。家づくり。今回は全て業者に任せておこうと思ったが、やはり、自分で手を出して、やってしまった。

やはり無理だった。秋の農作業・リンゴ収穫・建築作業の中、クリスマスマーケットの木工は、今年は無理だろうと思ったが、やはり作ってしまった。

やはり無理だった。予想より早い雪、冬の準備もままならない中、建築作業も追い込みの中、世界一周旅行給食は、マーケットが終わったばかりなのに、厳しいだろうと思ったが、子どもたちと保護者の思いのお蔭で、やはりやってしまった。

やはり、無理だった。秋は公私共に忙しい。それなのに、野球の応援、建築作業、山登り、自転車、農業、大地の内外の整備、何か手放そうと思ったが、やはり無理だった。

健康と減量と欲張りなお蔭で、まだまだ今年も、衰えを感じることなく終わることができそうだ。

今から25年前。大地開園を目指し、大地建設着手。それが本当に面白く、朝4時位から、夜10時位まで、毎日建物に籠って、大工仕事をしていました。当時は、それに専念してただけでしたが、現在は、その10倍位の仕事を並行してやるのが、当時と違う事です。

「やはり無理だろう」「どうせ無理だろう」これらの言葉が自分に行き交うと、これらを克服するエネルギーが湧き立ってきてしまいます。

「頼まれごとは、試されごと」その人だからこそ、神様は「あなただからこそ試みて下さい」あなたにチャンスw与えてくださるのでしょう。だから、無理をするのではなく、挑戦する機会を楽しみたいと思います。

自分の中では、無理をするのと、一生懸命 必死になって、限界まで挑む楽しさを味わうことは、表裏一体。充実感の味わいに自分の中で酔いたいという個人的願望だけです。まさに「一生懸命 必死さに酔う」

「個性を大切に」「その子らしく生きよう」「その子のペースを大切に」「何でも楽しくやろう」「一人ひとりを大切に」「無理をしない」……

学校教育 幼児教育 子育ての分野でも、これらの言葉が溢れており、そして、美化されて、最終的な切り札になり、結末は、これで全てが終わりという、風潮を感じます。誤解を恐れなくて言うならば、私は、これらの言葉にとっても違和感を感じますし、あまり使いません。

大人が自分の心の中で能動的主体的につぶやくのは自然ですが、他者から客観的に言われること、また、他者につぶやくことは不自然だと思うからです。大人は、自分の行動様式は自分で決められるからです。これらの言葉を他者から言われると、出鼻をくじかれたり、退廃的 あきらめムードが漂ってしまいます。また 未来に挑戦する 未来に生きるエネルギーを持つ子ども達にも、不自然なことがあります。

また、これらの言葉は、「自分勝手に生きる」「わがままに生きる」「やりたいときにやりたいことを勝手にやる」「衝動的に本能的にやる」「公共のルールを無視する」などが、と表裏一体にあると感じてしまうからです。コミュニティで暮らす事、夫婦で暮らす事においては、我慢や忍耐や妥協する摺合せも必ず必要です。これをしたくなかったら、無人島で一人で暮らす以外は、これらの事は、人が集まるコミュニティや集団教育の中では、不可能だと思うからです。

日常生活のなかで、我慢や忍耐や妥協したくない生活を望むなら、昔のように、自分で切り盛りして、自分で時間を作り、他人に頼らずに、自分でやるしかありませんね……………

これを書いていて、当の自分が、一番、我慢や忍耐や妥協ができない、コミュニティに生きることができない我儘な人間だと気付きました。「自分勝手に生きる」「わがままに生きる」「やりたいときにやりたいことを勝手にやる」「衝動的に本能的にやる」「公共のルールを無視する」まさに自分でした……………

自分という無人島の中で、最終的に一人になっても、自分で試みる ことを自分に課す事に酔いたい青ちゃんです。